



## 「秋じまい」の日々

「秋じまい」という言葉を使っている、私の大先輩の先生がいました。花を育てることが大好きな先生で、時期を終えた花や、プランターや鉢をてきぱき片付けます。

そこには、今年の花の彩りや、農作物の収穫に感謝の思いが添えられていたのでしょう。平らに整った花壇は自然と「いよいよ冬が近いのだな」という気持ちを抱かせてくれました。今の南牧村の農耕地を見ても、まさにそんな「秋じまい」が済んだ風景が広がっていますよね。

「秋じまい」は、辞書には載っていない言葉なのですが、農地や花壇のみならず、2学期の終盤を迎え、今までの自分達の取組を振り返り、自信を深めていく南牧中学校の皆さんの姿にもぴったり合うような気がします。



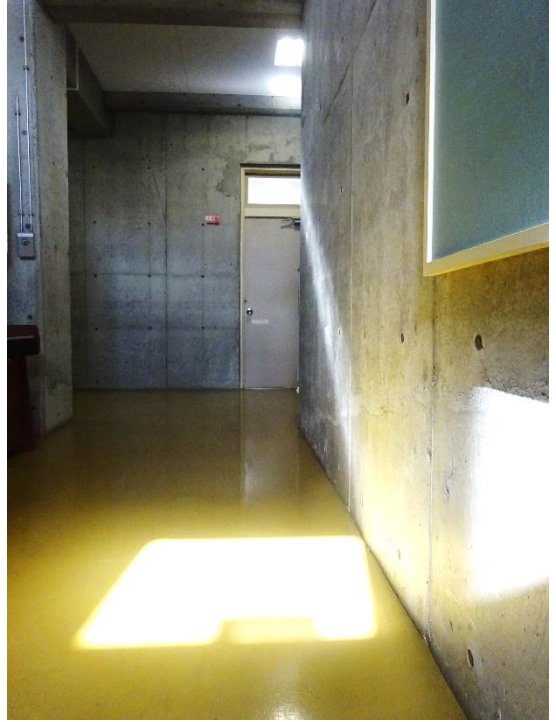
11月初旬には、校内でインフルエンザ感染が広がり、学年閉鎖・休校の日々が相次ぎました。その後、コロナ禍に続く基本的な感染対策を取らせていただきながら学校生活を送っています。ストーブを使用していますが、教室内の換気を心がけ、加湿器、空気清浄機を稼働しています。保健委員会では感染症予防対策月間を設け、手洗いの励行を呼びかけました。2学期も早いもので残りひと月足らずとなりました。ご家庭での健康管理のご支援、毎日本当に有難うございます。健康に安全に学校生活が送れますよう、校内環境を整えてまいります。



文化祭後の生徒会活動。忙しそうですね。



体育館の整備活動、有難うございます。



校内に差し込むあたたかな秋の日差しを受けて、子どもたちは学んでいます。ステージバックも、自然光のライティングで素敵な味わいを出していましたね！

\*\*\*



素敵なあいさつだなあ～

さて、先月の「世界の挨拶週間」面白い企画でしたね。自然に意識を高めていく中から、日常の挨拶を充実させていきたいという工夫が溢れていました。挨拶しながら顔がニコニコしてしまいました。

こうした忙しい毎日ですが、南牧村では

\*\*\*

数々の秋の催し物が行われ、参加している中学生の姿がありました。敬老会には吹奏楽部が出演し、お祝いの席にぎやかに盛り上げました。村の競歩大会に参加した



人も多くいたようですね。記念写真をお送りいただきました。有難うございました。また恒例の「南牧の子どもたち展」が民俗資料館で開催中です。会期も残りわずかです。是非、足を運んでみてくださいね。



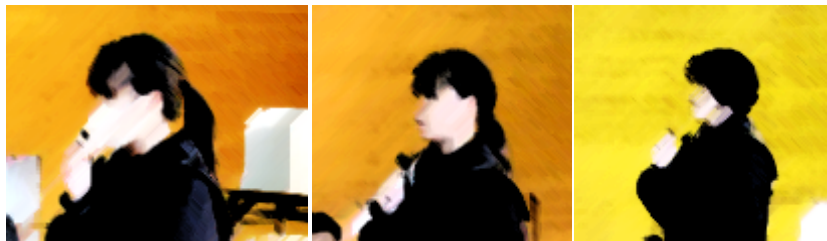
# 生徒会 役員 選挙

10月19日



に公示された来年度に向けての生徒会役員選挙は、ひと月の選挙活動期間を経て、去る11月14日に立会演説会（公開討論会）、投票が行われました。インフルエンザ感染拡大による学年閉鎖が続く中、候補者は自分の考えをまとめ、選挙管理委員会と共に選挙公報の発行や、教室訪問の準備等に変忙しい毎日であったと思います。この時点で、候補者の主張は、まだまだ未完成なものであるのは仕方のないことです。ですが、そこに質問・意見を重ね、主張をより強固に練り上げていくのは、同じ学年の友の力、そして全校の仲間たちの力です。そんな意味で、今年の教室訪問も全校討論会も大変意義深いものになったと言えるでしょう。来月の生徒総会、生徒会引き継ぎ会に向けて、生徒会をめぐって慌ただしい毎日が続くと思いますが、来る令和6年度に向けてスタートが切れるよう、日々の活動に臨んでいきましょう。

フロアからの発言。Nさんは「一緒に頑張りたい」と最後に言葉を添えました。

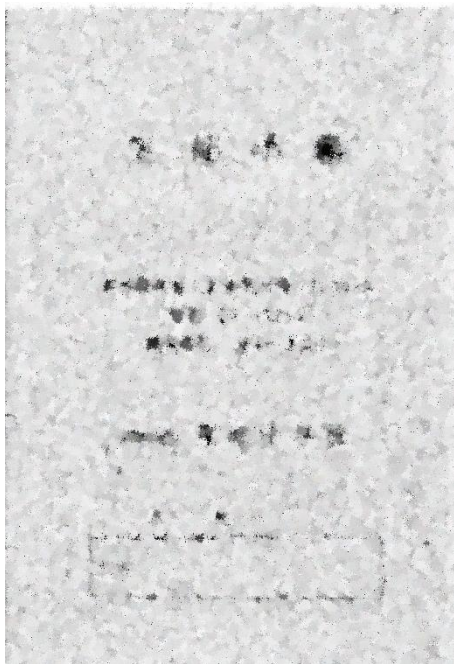


立会演説会（公開討論会）に臨む3人の候補者のプレッシャーは、さぞ大きかったことだろうと思います。1年生から新しい学校のリーダーとしての視線を受け、3年生からは学校を託していく期待を引き受ける3人です。そんな大きな節目を前に2年生の教室はどんな雰囲気なのだろうと、様子を見に行ってみました。

すると、教室内では立会演説会（公開討論会）をイメージした練習会を行っているではありませんか。候補者たちは、自分の意見を順に述べ、3年生役の友だちから質問を受けています。ひと通り意見交換が終わると、今度は聴衆から感想を聞いています。話し方、主張の伝わり方、3年生への配慮、話題の受けとめと展開の仕方…。発表後、候補者に向けられた仲間からの要望は、なかなか厳しいものもありました。でも、そうした思いを投げかけあえる仲間関係の強さが2年生には確かに結ばれつつあることも感じられました。

「まだ、もうちょっと。当日までにもう1回練習できる時間はあるのかな？」と2名の選挙管理委員は予定表を見つめていました。見えないところで頑張っている仲間がいる。生徒会を支える熱い力が育ってきていることを感じた時間でした。

# 生徒手帳改訂に向けて



来年度に向けての生徒会活動の準備が少しずつ始まってきた中で、現在の社会情勢や、今後の南牧中学校の生徒人数等を考えたときに、生徒手帳の様々な会則を変更していかないと、対応が難しくなってくることが、選挙公報の中でも、また各委員会の活動の中で話題になってきました。

そこで、12月の生徒総会を前に今年度中に改正できるものを検討し、来年度以降の活動と会則にずれが生じないようにすることを目的として、生徒手帳の改訂に向けて少しずつ生徒と職員が一緒に取り組んでいます。

過日行われた生徒会でとったアンケート調査でも、現生徒会会則等には様々な改定の必要があることに視点が向けられました。

「男女各〇名」という書き方があるけれど、男女で分けて考える必要はないと思う。



「副ルーム長」という、今は決められていない役職が残っている。

文房具はどこでも買えるので、購買の活動は必要感が無くなってきている。



生徒会役員の数が多すぎて、3年生から選出できない委員会が出てきてしまう。

「らくだ色」のベストとは、どんな色がよく分からない。



こうした生徒手帳見直しの活動は、全国の中学校でも少しずつ進められているようですが、南牧中学校でも、生徒のつぶやきから自然に生まれ、形になってきています。来年度の自分たちの学校生活をイメージすることも大事ですが、10年後の南牧中学校はどうなっているんだろう？その時、後輩たちは、この生徒手帳にある生徒会会則で、しっかり運営できているかなという視点をもつことは大切ですね。

## 全国学力・学習状況調査結果より 本校生徒の強み

(40) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

**1 当てはまる**

本校		県		全国	
----	--	---	--	----	--

本校では、学級活動のみならず、行事や生徒会、様々な活動の場で話し合い活動を取り入れ、自分の意見を発し、他者の意見を傾聴する機会をたくさん設けています。今回の生徒会会則の動きにも、こうした本校生徒の力が生かされています。

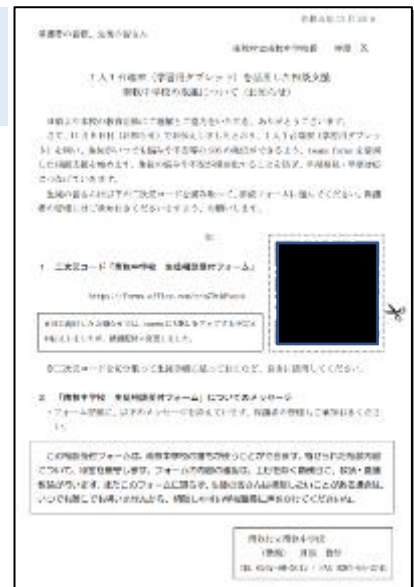
## 1人1台端末（学習用タブレット）を活用した相談支援 南牧中学校の取組について（お知らせ）を配付しました。

11月20日（月）に配付したこちらのお知らせは、南牧中学校の生徒は誰でも、いつでも使える、端末を使った相談窓口です。

二次元コードから入ることができるので、持ち帰った端末を使って家から入力することができます。活用してください。

### どんな質問項目があるの？

ということを知りたい人も、きっといますよね。フォームには以下の質問項目があります。名前はもし書きたくなかったら書かなくてもよい設定になっています。



- 1 あなたの学年を教えてください。※伝えたくない場合は記入しなくても構いません。
- 2 あなたの名前を教えてください。※伝えたくない場合は記入しなくても構いません。
- 3 あなたは悩みを誰に相談したいですか。あてはまるものにチェックを入れてください。  
(複数選択可)
 

<input type="checkbox"/> 学年の先生	<input type="checkbox"/> 養護（保健室）の先生
<input type="checkbox"/> 心の相談室の先生	<input type="checkbox"/> スクールカウンセラーの先生
<input type="checkbox"/> 校長先生	<input type="checkbox"/> 教頭先生
<input type="checkbox"/> その他（次の項目で誰に相談したいかを記入してください）	
<input type="checkbox"/> 今は知っておいてもらうだけでいい	
- 4 あなたが悩んでいること、不安なこと、困っていること、苦しいと感じていることは、どんなことですか。あてはまるものにチェックを入れてください。（複数選択可）
 

<input type="checkbox"/> 友だちや、先輩・後輩のこと	<input type="checkbox"/> 家族・家庭のこと
<input type="checkbox"/> 先生のこと	<input type="checkbox"/> 学校（授業や行事、決まり、行事）に関すること
<input type="checkbox"/> 学習や進路、将来のこと	<input type="checkbox"/> 部活動に関すること
<input type="checkbox"/> 自分（性格、心身の健康、性）に関すること	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> SNS等、オンライン上の出来事に関すること	
- 5 上の「あなたが悩んでいること、不安なこと、困っていること、苦しいと感じていることは、どんなことですか。」で回答した内容について、答えられる範囲でくわしく教えてください。回答したくない場合は、記入しなくても構いません。

右に二次元コードを再掲しておきます。  
養護教諭の金井先生、そして教頭が毎日確認しています。  
必要な時に、いつでも活用してください。



## 第2回部活動運営委員会（12/1）がありました【ご報告】

お集まりいただいた皆様には熱心な討議をいただきました。有難うございました。以下、当日お伝えした内容と、討議されたご意見の一部をご報告します。来年度に向けて、南牧中の部活動が、子どもを中心に、学校・行政・家庭とでさらにより良いものになっていきますよう、共に取り組んでまいりましょう。

### 1 学校長より本年度の部活動地域移行の経過報告と今後の展望について説明がありました。



《令和5年度の成果4点》

- ① 運営主体が選定されました。（佐久穂町教育委員会内に事務局、コーディネーターの設置。町村からの負担金により、広域活動を支えていただくようになった。）
- ② 南佐久全体から地域の指導者の確保を進めています。
- ③ 練習会場の確保に努めています。（母体となる学校・指導者のいる地域の学校等を中心に、各中学校で偏りがないように配慮していきます。）
- ④ 移動方法を模索しています。（平日の合同練習も踏まえ、小海線の利用促進を考えています。）



運動部活動の地域移行等に関する  
実践研究事例集(スポーツ庁)P58

《部活動の地域移行 その「よさ」と「課題」》

#### 【よさ】

- ・他校の友だちと大人数でゲームができる。
- ・専門の人に教えてもらえる。

- ・生徒がやりたい活動ができる
- ・お互いに切磋琢磨し、高め合う仲間
- ・専門的な指導が受けられる

#### 【課題】

- ・遠くまで移動すると朝が早くて大変
- ・他校の友だちとうまく仲良くできない

- ・仲間としての意識づくり
- ・平日の合同練習や他の部活への拡充
- ・保護者や地域の方との協力

### 2 次のテーマを討議の柱に据えて、グループで話し合いをしました

南牧中学校の部活動で目指す姿「互いの違いに学び合い、共に歩み出そうとする生徒」の実現を目指し、中体連夏季大会・新人大会を経て見えてきた次年度以降の部活動地域移行の取組を持続可能なものとしていくためのアイデア（学校・家庭・行政の役割）を考える。

#### Aグループ

○：成果 □：課題 ☆：提案

- 子どもたちが団体スポーツを続ける環境が出来てきた。レベルも上がった。
- 小学生の活動ともしっかり連携したらいい。たぶん地域の指導者はすでにやっていると思う。
- 新しいユニフォームを作ってもらえて良かった。
- 練習試合の安全な移動方法を更に検討したい。小海線は移動方法としては難しいのでは？
- 活動に必要な物（応援幕や練習道具）がもっとある。併せて、その管理の仕方の問題もある。
- チーム（他校）の仲間との話し合いの場をもっともちたい。
- ☆スポンサーがついてくれたら活動資金になる。クラウドファンディングで調達できるか。

## Bグループ

- 部活動の地域移行を進めていく先に目指すものを、みんなで共有したい。
  - 新チームになった時に確認し合って、同じ方向を目指していきたい。
- 小学生の保護者も、関心をもっている。情報を共有することで、見通しが立てられる。
- 部活動の地域移行を進めてもらっているが、進み具合が保護者に分かると安心できる。
- 合同練習の機会が増えていくことが望ましい。
  - ・練習場所が偏らないようになるといい。
  - ・各校の年間計画、テスト期間を揃えて、練習しやすい環境が整えられたらいい。
  - ・活動時間の設定を、夏と冬とで変えてもよいのではないか。冬期間も活動出来たらいい。

## Cグループ

- 子どもの人数が少なくても、やりたいことに対応してもらえることは、その子の将来に生きることなのではないかと思う。
- 単独でチーム作りができないと今までは廃部になっていたが、たとえ1,2名でも部として存続できることは、地域クラブのよさである。
- 今までは人数がギリギリで必ず選手になれたけど、人数が増えたことで、少し競争の意識をもてるようになった。
- 他校との交流演奏で、自分たちとは違う表現方法など、気付けたことがあったと思う。
- バスの相乗りをする際などは、保険がどうなっているのかよく分からないままだ。
- JR を活用している生徒が、開始時間に間に合わず遅れて参加している現状がある。自転車の利用を認めてもらえたら有難い。
- 各校でバスの運行条件の柔軟さに違いがある。

## Dグループ

- 子どもたちの選択肢が増えてよい。自分のやりたい部活を選ぶことができる。
- 大会に出ることができた。指導者の方が増えてありがたい。交通費の負担はありがたい。
- 他校との生徒の交流で、子どもが人間的に成長できたら良いと思う。
- 生徒、保護者、指導者 共通の目標をもちたいもの。意識の温度差を感じている。
- 移動時間が増えれば健康面の心配もある。生徒の不安や心配ごとのケアもしっかりしていく。
- 移動、送迎について様々な意見  
(移動のバスを行政で増発してほしい。現地の集合・解散が基本ではないか。送迎が楽になると助かる。)

## Eグループ

- ☆部活動の地域移行で何を指すのか、各部活動の目標は何なのか、部活動指導員の立ち位置の確認等の共有が必要。今後、持続可能な取組を目指していくのであれば、活動の根幹の部分こそ、みんなで話し合ってしっかりと決めておきたい。
- 部活動指導員として主体的に取り組みたいと思っている。地域の子どもの成長が何より大事だ。だが今は、どちらかといえば部活動のサポートにとどまっている。アイデアがあっても誰に確認を取ればいいのか分からないことが多く、関わる組織が多すぎて自分がどこに所属しているのか分からない等、これから解消していきたい点はある。
- 部活動指導員は委嘱状を出す仕組みがよいのではないか。

11月16日の参観日に行われた情報教育講演会の講師 伴美佐子先生に、生徒の皆さんの感想、質問をお送りしましたところお返事をいただきました。こちらに紹介します。

先日のメディアリテラシー講演会では、たいへんお世話になりました。さて、生徒の皆さんからの質問がありましたので、私なりに考えてみました。



① SNS でのトラブルが減るにはどんなことが大切だと思いますか？

◎画面の向こう側には、必ず自分と同じように「心」を持った人がいるという想像力を持ってほしい。

◎ネットの世界は玉石混交（正しいものも正しくないものも含まれている）なので、自分で取舍できる力を身につけてほしい。

② 1日どのくらいがいいのですか？（インターネットをやる時間）

◎一度、自分がいったいどのくらいインターネットや動画視聴、ゲームをしているのかを客観的に記録してみるといいと思います。そうすると「自分がどのくらい使ってもいいか？」が見えてくると思います。できれば使用時間は自分自身で決めてほしい。

ちなみに、アップル社を創立したスティーブ・ジョブスは、自分の娘に14歳まではスマホを触らせなかったそうです。

③ 相談用の電話番号に相談すると、どんなことを一緒にしてくれるのですか？

◎私は性暴力被害者支援センターの相談員なので、被害を受けた人の話を聞き、必要に応じて病院に一緒に行ったり、警察や弁護士さんの相談に同行したり、心のケアが必要な人にはカウンセラーさんを紹介したりしています。

④ 先生はネットの被害にあったことはありますか？

◎幸い今のところはネットの被害にあったことはありません。そのためにも、これからも学び続けていきたいと思っています。

質問をいただいた生徒の皆さん、ありがとうございました。

（伴美佐子先生より）

## おらせ

\* \* \* \* \*

- ① 12月保護者懇談会の予定をお配りしました。師走のお忙しい中をお時間をいただきますが、どうかよろしくお願ひします。
- ② 学校自己評価アンケートを2件、お願ひしました。今年度の教育活移動につきましてご意見をお寄せいただきますよう、お願ひします。12月15日（金）を締め切りとさせていただきます。よろしくお願ひします。右に二次元コードを再掲しました。お使いください。

文責：目黒 哲朗

R5\_学校評価アンケート（保護者）



R5\_保護者アンケート（いじめ・体罰調査）

